

# 地元いわき市をはじめ、地域社会に貢献できる作業療法士

医療創生大学  
健康医療科学部 作業療法学科  
カリキュラム

## ディプロマポリシー

DP1. 広い視野と豊かな教養に基づき、健康の維持・増進およびリハビリテーション専門職の担い手としてふさわしいヒューマンズムと倫理観を身につけている。  
DP2. 地域に住む孤立しがちな人びとや、心身および生活上の障害を抱えた人びとの個別な健康・医療課題を的確に把握し、子どもから高齢者に至るまでの人らしく生活できるように、その生活支援や就労支援を行うことで、積極的に地域貢献できる能力と態度を身につけている。  
DP3. 健康・医療に関する課題を解決するために、作業療法の専門的な過程を用いて根拠に基づいた科学的思考が展開でき、優れた作業療法技術を駆使して生活能力の再獲得への支援ができる。  
DP4. 健康・医療に関わる作業療法の専門家として科学と健康・医療の進展に対応するために、生涯にわたって持続可能な主体的かつ能動的な学修ができる。

4年	後期	英語C2											卒業研究Ⅱ	作業療法セミナーⅡ																									
	前期	英語C1											作業療法の教育と管理	作業療法セミナーⅠ	地域保健マネジメント論	臨床実習Ⅱ																							
3年	後期													卒業研究Ⅰ	精神機能作業療法学各論	高次脳機能治療学	臨床実習Ⅰ																						
	前期														リスク管理論	臨床推論演習	身体機能作業療法学演習	生活と作業療法学演習	精神機能作業療法学演習	老年期作業療法学演習	発達と作業療法学演習	就労支援と作業療法学演習	評価学実習																
2年	後期	中国語2	韓国語2											薬理学	救急処置法	小児科学	老年医学	公衆衛生学	健康医療科学研究方法論2	精神機能評価学演習	発達機能評価学演習	身体機能作業療法学Ⅱ	生活と作業療法学	精神機能作業療法学	老年期作業療法学	発達と作業療法学	地域作業療法学演習	住環境整備論	地域包括ケアシステム実習										
	前期	中国語1	韓国語1											人体の構造演習	人体の機能演習	運動学演習	心理生理学	病理学	神経内科学	整形外科学	精神医学	臨床心理学	精神機能評価学	身体機能評価学演習Ⅱ	身体機能作業療法学Ⅰ	スプリント	スプリント製作演習	義肢装具学演習Ⅱ	地域作業療法学										
1年	後期	英語A2	英語B2	健康・スポーツ2	倫理学の世界 芸術の世界 文学の世界 日本の歴史と文化	暮らしのなかの憲法 経営学入門 ジェンダー論 政治学入門	生命の科学 食品の科学 地球環境の科学	人体の構造Ⅱ	人体の機能Ⅱ	運動学	人間発達学	リハビリテーション医学	社会福祉学概論	作業療法基礎理論	作業科学演習	健康医療科学研究方法論1	作業評価学	身体機能評価学演習Ⅰ		特別支援教育と作業療法	見学実習																		
	前期	フレッシュャーズセミナー	コンピュータリテラシー	日本語リテラシー	英語A1	英語B1	健康・スポーツ1	健康の科学	哲学の世界 ことばの科学 心理学概論 世界の歴史と文化	法学入門 経済学入門 社会学入門 災害からの復興	自然科学のあゆみ 健康と業 統計のしくみ	人体の構造Ⅰ	人体の機能Ⅰ		リハビリテーション概論	作業療法概論																							
初年次教育科目				リテラシー教育科目				外国語教育科目		健康・スポーツ教育科目		一般教養科目				人体の構造と機能及び心身の発達				疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進				保健医療福祉とリハビリテーションの理念				基礎作業療法学		作業療法評価学		作業療法治療学				地域作業療法学		臨床実習	
全学共通教育科目												専門基礎科目												専門教育科目															

## カリキュラムポリシー

CP1. 1年次から4年次に、全学共通教育科目の初年次教育科目、リテラシー教育科目、一般教養科目、外国語教育科目、健康・スポーツ教育科目を配置し、作業療法士の担い手としてふさわしい幅広い人間的な視野と豊かな教養を身につける。  
CP2. 専門基礎科目として、1、2年次を中心に『人体の構造と機能及び心身の発達』、『疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進』、『保健医療福祉とリハビリテーションの理念』を配置し、必要な基本的知識を修得する。  
CP3. 専門科目は、下記に示す、基礎作業療法学、作業療法評価学、作業療法治療学、地域作業療法学、臨床実習の5つのカテゴリにおいて学修する。  
(a) 1年次から4年次に、『基礎作業療法学』を置く。基礎作業療法学では、作業療法の歴史的変遷や作業療法を支える理論および研究に関わる科目を配置し、科学的根拠に基づく実践の素地を修得する。  
(b) 1年次から3年次に、『作業療法評価学』を置く。作業療法評価学では、人間の身体機能、精神機能を検査・測定する意義とその具体的方法について学修するとともに、客観的臨床能力試験(OSCE)を実施する。  
(c) 2年次から4年次に、『作業療法治療学』を置く。作業療法治療学では、作業療法士が用いるアプローチの理論と実際について学修する。また、4年次に作業療法セミナーⅠ、作業療法セミナーⅡを配置し、1年次から4年次までの学修を統合する。  
(d) 1年次から4年次に、『地域作業療法学』を置く。地域作業療法学では、障害のある幼児児童生徒の地域や学校における支援や高齢者等の活動と参加を促進するために求められる知識、生活環境の支援方法について修得する。3年次からは、より専門的な内容で障害者の就労支援と作業療法を学修し、地域・医療に関する課題を把握し、地域貢献できる能力と態度を養う。  
(e) 1年次から4年次に、『臨床実習』を置く。臨床実習では、早期に、チーム医療の臨床現場を見学し、作業療法士としての基本的な態度に加え他職種と協働するために求められる倫理観やチーム医療の構成員としての態度を身につける。また、2年次の地域包括ケアシステム実習は、地域包括ケアシステムに携わる作業療法士の実際に触れながら、地域課題解決に向けた取り組みについて理解を深める。3年次、4年次では、実習指導者の指導のもとで一連の過程を学び、科学的根拠に基づく作業療法の素地を修得する。

## アドミッションポリシー

- AP1. 高等学校の教育課程を幅広く修得しており、心身ともに健全である人
- AP2. 作業療法士の社会的使命や役割に興味関心があり、他の人々への思いやりと熱意をもって社会貢献しようとする意欲のある人
- AP3. ものごとに対して主体性を持って、積極的かつ誠実に取り組む姿勢が身についている人
- AP4. 社会の様々な問題に対して、知識や情報をもとにして、筋道を立てて考え、考えた結果を説明することができる人
- AP5. 高等学校までの履修内容のうち、「国語」と「英語」を通して、聞く・話す・読む・書くというコミュニケーション能力の基本的内容を身につけている人
- AP6. 高等学校までの履修内容のうち、作業療法学の基礎として「数学」と「理科」の基本的内容を身につけている人
- AP7. 学校や地域において、グループ学習、課外活動、ボランティア活動などの経験があり、他の人々と協力して課題をやり遂げることができる人